

明智地域自治区運営協議会だより

令和3年度第3回明智地域自治区運営協議会が12月22日（水）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員22名中19名、オブザーバー2名 傍聴者：3名）

1. あいさつ

杉山会長：年末の忙しい中お集まりいただきありがとうございます。明智では20数年ぶりに火災による死亡者が発生するなど年末に暗いニュースが続いていますが、何とか皆さんと力を合わせていきたい。国政では決めきれない政治が続いています。これが地方に波及しないよう、明智の運営協議会はしっかり前へ進んでいくよう皆さんの意見をよろしく願います。

～三宅消防友の会長から中垣分団長へ年末夜警激励金の贈呈が行われました～

2. 協議事項

(1) 令和4年度まちづくり活動補助金・活動交付金事業の承認について (P4-45)

・単独事業 上限5事業 ・連携事業 明智2事業（他地区3事業）

【事務局から説明】

まちづくり活動に対する補助金について、明智地域計画の目標や柱に基づき単独事業を5事業、連携事業を2事業選定するものです。

10月の会議時には単独事業は6事業の応募がありましたが、そのうち「花いっぱいのもちづくり事業」については、経費の多くが花苗代となっており、花苗の調達をまちづくり補助金ではなく「県道花苗配布事業」へ移行することで事業継続できることから、本事業はまちづくり補助金から削ることを提案します。

なお、令和3年度における事業の進捗状況については以下のとおりです。

単独事業

- 1 花いっぱいのまちづくり事業（花と木のまちづくり実行委員会）
- 2 婚活事業並びに子ども川遊び場整備と川遊び体験事業（まいまいくらぶ）
- 3 中・高校生と若者がつくる！地域の魅力事業（フォーラム福祉部会）
- 4 すわがねを活用した歴史自然観光の推進と移住体験モデル事業（吉田地域活性化委員会）
- 5 恵那南高校地域サポート交流事業（南高校地域サポーター連絡会）

連携事業

- 1 恵南地区「山城砦」整備活用及びスポーツイベント事業（日本大正村フォトロゲイニング実行委員会）
- 2 ジビエ活用による技伝承事業（AKジビエ研究会）

コロナ禍でもそれぞれ事業が執行されていますが、3番の高校生と若者がつくる！地域の魅力事業については、かえでまつりのこどもひろばが実施できなかったことから不執行となる見込みです。

また、令和4年度の申請事業としては、5つの単独事業217万円、2つの連携事業120万円のまちづくり補助金を、以下の優先順位で申請するよう運営協議会において賛成多数で承認されました

単独事業

- 1 空き家を活用した明智みらい事業（明智みらい会議）
- 2 親子が集う場づくり応援と川遊び体験事業（まいまいくらぶ）
- 3 中・高校生と若者がつくる！地域の魅力事業（フォーラム福祉部会）
- 4 地域でつながり！地域づくりと地域力向上事業（吉田地域活性化委員会）
- 5 恵那南高校地域サポート交流事業（南高校地域サポーター連絡会）

連携事業

- 1 恵南地区「山城ロゲイニングまちづくり」スポーツイベント事業（恵南山城ロゲイニング実行委員会）
- 2 ジビエ活用による技伝承事業（AKジビエ研究会）

2月には市役所にて振興事務所長がプレゼンテーションを行い、正式に採択される予定です。令和3年度の出生数が4月から11月の8か月間で5人しか生まれていない実状を踏まえ、明智地域の喫緊課題である人口減少対策として、空き家を活用した明智みらい事業を新規事業として取り組んでいきます。

明智みらい会議 佐々木さん：これまででは、今住んでいる若者に残ってもらうことを考えてきましたが、先日、豊田市旭地区・足助地区の移住取組を視察してきて、これからは外からの移住者を多く受入れていくことも重要で、明智のスタイルを作り上げていきたい。

(2) 恵南地区中学校の再編について

・地域説明会の開催

【事務局から説明】

去る9月市議会での一般質問を契機に、平成28年3月当時の再編検討委員会が恵那市長に答申した「令和3年度に山岡地内に新校を開設」が出来なかったことに対し、市教育委員会は、今までの経緯と課題を当事者である保護者に向け意見を聴く機会としての説明会を年明けから開催するとしています。

杉山会長：市はこれまで18項目の課題を検証してきましたが、特に通学時間を1時間以内で通えるという点が課題となっています。市教育委員会も皆が納得するまで何度でも説明に行くとのことですので、運営協議会としてもしっかりと意見を聞きながら進めていきたいと思えます。

(3) 鳥獣害対策について

・明智・串原鳥獣害対策協議会の発足と今後の予定

【事務局から説明】

明智町では最近サルやニホンジカの被害が増えており、門野、杉平、野志などからシカ被害の声が届いています。そこで、国からの交付金をもとに集落ごとにメッシュ柵設置を計画しようと明智・串原鳥獣害対策協議会で検討が進められています。上矢作町では2年前から準備を始め、今年度から柵の設置が始まっています。去る12月17日の自治会長会議でも、市農政課からメッシュ柵対策等の説明を受けたところです。

猟友会明智支部 藤本さん：7月に明智・串原合同で鳥獣害対策協議会を起ち上げました。猟友会としても駆除はしていますが免許所持者も減少しているため、並行して進入防止対策も必要であり、明智・串原全体で計画していくべきだと考えます。

(4) 次年度の事務局体制について

・熊田事務局長の後任

【事務局から説明】

運営協議会の事務局として、熊田さんには運営協議会事務、あけちまちづくりフォーラム事務、明智みらい会議事務、あけちだより発行業務など担っていただいておりますが、3月いっぱい退任の意向を受け、4月からの後任選任について、明智のまちづくりに熱意のある方、事務のできる方を皆さんからも振興事務所あてご推薦いただきますようよろしくお願いいたします。

3. 報告事項

(1) 大正村施設休館日の設定等について

- ・令和4年度から毎週水曜日が休館日に
- ・司葉子記念館を共通券に追加へ

【事務局から説明】

12月13日の運営協議会役員会において、日本大正村の小澤理事長、河越副理事長から、従事者の高齢化などから大正村施設の休館日を毎週水曜日に設ける（時期は令和4年夏以降）ことや、司葉子記念館を含めた4館共通券を設けることの説明を受けました。役員会として、大正村・浪漫亭・明知鉄道は観光の要なので、連携した運営をお願いしたいとの意見がありました。

日本大正村 門野さん：従事者35名は平均年齢74歳でシフトを組んでいます。従事者の待遇面からも週1回の休館日を設けるものです。ただし、観光バスなど団体予約がある場合は水曜日でも臨機応変に開館し、観光案内所自体は休まず開所します。

(2) 恵那市への要望活動結果について

- ・要望日：11月25日（木） 要望先：恵那市長

【事務局から説明】

11月25日に地元市議2名同席のもと、自治区会長、自治連会長、観光協会明智支部長、猟友会明智支部長の4名で、下記3点の要望書を提出し、市長・副市長をはじめ担当課長から前向きな回答をいただきました。

- 1 山城の整備（仲深山砦・一夜城の整備や看板設置）
- 2 地籍調査事業（横通・阿妻地区）の早期着手
- 3 鳥獣害対策（サル及びニホンジカの対策支援）

(3) 各部会の開催状況について

- ・11月9日 安心部会（移動手段の見直し）
- ・11月26日 郷土部会（山本芳翠先人顕彰など）
- ・12月15日 賑わい部会（次年度に向けた企画検討など）

【各部長から報告】

安心部会 大木部会長：安心部会では交通弱者の移動方法について検討しています。バス停まで行けないという声に対し、地域有償運送など明智町として利用しやすい移動方法を検討しています。

郷土部会 成瀬副部会長：山本芳翠を取り上げた紙芝居を作れないか、地域学校協働活動として子どもたちが地域を学べるよう明智の宝物を探す、来秋の全国山城サミットに向けた取組などを検討しています。

賑わい部会 奥田部会長：部会内外からの提案で、明智の森でキャンプ場、大正池でのルアーフィッシングなどアウトドアリゾート化したらどうか、ゴルフ場ロビーでの物産ブース設置、ドローン空撮大会、明知城の草刈りイベント、鳥獣害とジビエ振興など新たなアイデアを検討しています。

(4) ふるさとえな応援寄附金（ふるさと納税）の受入促進について

- ・10月末現在の受入状況と受入促進（まいまいあけち HP アップ）

【事務局から説明】

明智町のまちづくり活動に対する寄附は10月までに25件430,000円です。かえでまつりでは120,000円を活用し、まいまいあけちのホームページやフェイスブックでも周知しています。年末に向け寄附のピークを迎えるため、親類・知人への拡散をお願いします。

(5) 令和4年（2022年）のイベント予定について

- ・10月22日～23日 全国山城サミット恵那大会
- ・11月10日～13日 WRC ラリージャパン2022
- ・11月18日～19日 嚶鳴フォーラム in 恵那

※その他に、明智小150周年、恵那南高校15周年、光秀公没後440年

【事務局から説明】

令和4年は明智町に関連する多くの全国規模のイベントが開催されますので、このチャンスを活かし盛り上げていきましょう。

(6) 各種イベントの状況について

- ・12月11日 明智町冬の花火大会「光秀からの贈り物」
- ・12月11日～12日 明智町文化祭
- ・12月28日～30日 消防団 年末特別警戒、1月8日 出初式
- ・1月1日 越年マラソン（中止）
- ・1月9日 成人式
- ・2月4日～10日 確定申告受付

【事務局から説明】

12月以降のイベントの状況をお知らせしました。

4. その他

- ・非常事態宣言解除と飲食店等への支援
- ・緑化木の無償配布

【事務局から説明】

市からのお知らせを2点情報共有するとともに、当日資料により恵那市地域公共交通計画（案）のパブリックコメント実施、スポーツ推進委員に寺澤直樹さん、成瀬秀明さんを推薦したこと、恵那土木事務所から要望に対する回答報告、12月までのまちづくり活動のようすを写真でお知らせしました。

5. 委員さんからのご意見・情報交換

委員の皆さんから、ご意見や各団体からの情報提供などについてお話しいただきました。主な内容は下記のとおりです。

- ・コロナ対策をしながら事業を進める分には住民の協力も得られる。人口減少は自治会活動にも影響があるので明智みらい会議の活動には協力していきたい。
- ・ふるさと納税は商品に興味が持たれています。ジビエなど魅力的な商品化を考えるとよいと思う。各部会の企画案について誰がやるのかも考えていくべき。
- ・少しでも良いので明智の活性化のため足掛かりとなるような活動をしたい。
- ・賑わい部会では希望を持てる話し合いができた。夢では終わらせず続けていけるようにしたい。
- ・AKジビエでは5年間の活動の中で、何とか自前で加工・販売する施設を作りたいと考え、恵那ジビエという会社を立ち上げ、来る12月27日には近隣自治会に向けた施設説明会を開催する予定です。
- ・ロマンカード会のポイント発行数は減少していますが、徐々に朝市の客数は戻りつつあります。ぜひロマンカード会の店舗をご利用ください。
- ・明智版の白タクのような移動システムをつくりたい。
- ・消防団の夜警は3日間・時間縮小で実施します。寒い時期ですので火の元は十分ご注意ください。
- ・恵那土木事務所からの回答では国道363号が改良済みとなっていますが、事故も多く危険なので、もっとしつこく要望していくとよいと思います。
- ・これだけ出生数が少なくなることは課題なので、若い人がここに残って子供を生み育てたいと思えるような地域づくりをしないと、子供たちの集団生活で培う力もつけてあげられない。
- ・中学校の再編も難しい課題ですが一緒に考えていきたい。
- ・まいまいくらぶは11月20日の婚活イベントで5組のカップルができました。フォトロゲイニングも11月21日に開催でき、来年は山城サミットにからめて実施したい。また、年末には明智出身の子が富士山全国大学女子駅伝に出場しますので、ぜひ応援してください。
- ・中学校の再編について、これだけ出生数が減っている中では仕方ないと思っている保護者は多いですが、通学など再編となることに不安も多くあります。PTA役員向けの説明会があるそうなので、納得できる形で再編に向けた話し合いができたと思います。
- ・人口減少の問題は働く場所が無いためであり、企業誘致を考えてもらいたいと思います。
- ・南高校サポーター活動はありがとうございます。駅前学習スペースはテスト前だけ開設するなど改善していけるとよいと思います。まちづくりの担い手育成に向けても、色々なことに子どもたちを関わらせてあげたい。
- ・明智の名所にQRコードで中高生に紹介してもらったらどうか？大河ドラマ「鎌倉殿の13人」についても頼朝の家臣が明智にいたなど、山城サミットのPRのため町境に看板設置をしたい。
- ・地域学校協働活動では、12月19日には八王子神社のしめ縄づくりに中学生8人がボランティアで初めて参加しました。

平林議員：各部会の報告を聞いてワクワクしてきました。特に賑わい部会の提案内容。安心部会での交通弱者の議論については、地域のお年寄りからの困り感を聞いていますので大変期待しています。また、八街市の死亡事故もガードレールの地域要望をしていましたが優先度が低く対応してもらえなかったようで、危険箇所などは大げさに声を上げていくことかと思いました。また、働く場についても市では恵那西工業団地の造成に着手しています。

伊藤議員：13地域それぞれでまちづくりの会議がありますが、周辺部の方が熱心に会議をされているように思います。明智町もこの4月から過疎区域になりました。この現実を受け止め、この運営協議会や各部会で、無いモノねだりではなくあるモノ探しをしていくことは可能性があると思います。まちづくり補助金は過去には多くの事業で多くの予算がついていましたが、予算削減により減少しています。地域でしっかり実績を上げることでもっと増やしていくよう要望していきたいと思います。

杉山会長：合併や統合は全体のパイが大きくなる半面、責任が薄くなる点があり、気持ちが離れていくことが懸念されますので、皆さん方にも常に關心を持っていただき、明智のまちづくりを成功させていきたいと思えます。

次回：令和4年3月初旬 予定

協議事項：まちづくり活動補助金の内示、地域計画個別行動計画の策定、各部会からの報告 など

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局（明智振興事務所内）

☎0573-54-2111

まいまいあけち
maimai aketchi

